

アオイトトンボ (アオイトトンボ科)



緑の光沢のある胸

羽根を開いて止まることが多い。

近縁種にはオオアオイトトンボ、コバネアオイトトンボがいる。コバネアオイトトンボは絶滅危惧種。



胸の緑色の配置で見分ける。

エゾイトトンボ (イトトンボ科)



類似する種の中で、腹部の青い部分が多いことが簡単に見分けるポイント



オス

オオイトトンボ (イトトンボ科)



オゼイトトンボ (イトトンボ科)



胸部の模様 (オス)



キイトトンボ



オスは腹部先端が黒くなる。



モートンイトトンボ (イトトンボ科)



メス



未成熟メスはオレンジ色



モノサシトンボ (モノサシトンボ科)



オスの足の白い部分が目をひきます。



メスの足は少し赤みがかっている。

ニホンカワトンボ (カワトンボ科)



オス



メス

アオハダトンボ (カワトンボ科)



オス

鮭川の河原にて



メス

コオニヤンマ (サナエトンボ科)



胸の模様や後脚の長さなどから。



コサナエ (サナエトンボ科)



こちらも胸の模様などで判断



ムカシヤンマ (ムカシヤンマ科)



この時期、観察しやすいトンボの一つ。
この個体は捕食中



オオシオカラトンボ



腹部先端と羽根の基部が黒い。



樹林の中の湿地で見つけたが、メス個体は発見できず。

シオヤトンボ (トンボ科) オス



メス



コシアキトンボ (トンボ科) メス



オオシオカラトンボのメスかと思ったが、コシアキトンボのメスらしい。この時期オスは確認できず。

ハラビロトンボ (トンボ科)



メス



オス

オスは黄色から黒に変化する



ヨツボシトンボ (トンボ科)



5月下旬から6月前半にかけて元気だったヨツボシトンボは、徐々にハラビロトンボに追いやられている感じ。



クロスジギンヤンマ (ヤンマ科)



止まっているところに出会わないので、オスの撮影は難しい。



オニヤンマ（ヤンマ科）



その他 同定できず



アジアイトトンボであろうと思うのですが。

5月と6月で20種類のトンボを確認。